



たいせい 大生だより NO.16

福島市笹谷字新町裏 6 番地の 1 024-573-4022



ホームページ
フェイスブック
ツイッター

taisei-shinobunosato.jp
facebook.com/taiseishinobu
twitter.com/egao_tomato
R4.12.7 発行

みなさまの笑顔に支えられ開所 6 年目を迎えることができました

12/7 大生信夫の里は 6 年目を迎えることができました。利用者の皆様、ご家族様、関係機関、地域の皆様のご協力、ご支援のおかげです。感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。11 月も芋煮会、外出活動、支援学校実習、事業所説明などの場で、たくさんのえがおをみることができました。今年も残り 1 か月。気持ちよく新年を迎えられるよう心身ともに元気よく過ごしたいです。

↓ 生活介護外出活動

あったか〜い ☺



就労実習：トマト納品体験（道の駅国見）



ジャンダルム製作活動：紅葉しおり
古都を感じる作品です



2 年連続入選！ おめでとうございます！！

福島県障がい者芸術作品展「きになるひょうげん 2022」が猪苗代町で開催されており、中島優太さんの作品が入選しました。昨年に続き 2 年連続の入選です。自分の感性を色で表現することが得意で、生活介護事業所での創作活動が大好きな中島さん。ドットシールを使った作品の題名は「かくれた猫」。よ〜く観ると作品の中に猫が隠れています



福祉作品展 (12/2~4 アオウゼ)

先週開催されました福祉作品展。ジャングルムに通うお子さんの作品も多数展示されました。個人またはお友達と協力して作り上げた作品からは、力強さや、楽しさ、繊細さ、配色の工夫など、一生懸命向き合った姿を想像することができました。どれもすてきでした！ 一部をご紹介します。

生活介護でも大作に挑み製作をすすめてきましたが、今回の作品展には間に合いませんでした・・・今年は何かな？と会場に見に来てくださった方には申し訳ございませんでした。来年にご期待下さい。



就労事業所見学にきていただきました (12/1・大笹生支援学校高等部 1年生)

熱心にメモをとり、積極的に質問をする生徒さんの姿が印象的でした。ハウスではトマト収穫を体験してもらい、収穫する楽しさも体感していただきました。生徒のみなさん、見学ありがとうございました。生徒さん「いろいろな作業がありますが、やっている途中で失敗したらどうしたらいいですか？」

管理者 「誰でも失敗はします。失敗したら『失敗しました』とちゃんと伝えることが大切です。このくらいいいかなと自分で判断したり失敗をそのままにしておく、取引先の会社やまわりの人に迷惑をかけてしまうことになります。教えてくれれば大丈夫です」

生徒さん「水やりはどうやっているのですか？」

管理者 「量や時間、温度などを機械で管理しているので、自動で水が流れるようになっています。」

生徒さん「ジョウロで一つ一つ水やりするのかなと思っていました」



グループホーム

11月は入居1名・体験2名でした。12月の入居は2名です。仲良く楽しく共同生活していきましょう。今月は、12月恒例の「食レク活動」が予定されています。4棟それぞれで入居さん同士が協力してクリスマスのパーティー食をつくります。この様子は来月号でお伝えいたします。



年明けに、定員拡大を予定しております。詳細につきましては、お問合せください。



保護者と事業所の意見交換会参加

40事業所が集まった事業所説明会。放課後デイを利用してくださっている保護者様も多数参加していただきました。「たくさんの事業所があるけれどどこも空きが少なく、我が子が卒業する頃に受け入れ先があるのか心配です」そんな心の内を聞かせてくれたお母様がいらっしゃいました。法人としても常に社会の動向に注視し新しい情報を得て、保護者様のお悩みに対応できるようにして参りたいと思います。相談、見学等いつでもお気軽にお声がけください。



編集後記：皆さまにとって2022年はどんな年でしたか？私個人としてはチャレンジの年でした。これからも皆様がたくさん笑顔をお届けできるよう、大生福祉会職員一同がんばって参りますので来年もどうぞよろしくお願いたします。よいお年をお迎えください。 法人本部：木戸